

Adobe Flex 3: LiveCycle Data Services サーバーと ColdFusion 8 の統合

Flex と ColdFusion の概要

- Flex 3 と ColdFusion 8
 - Flex アプリケーションとアプリケーションサーバー
- コースの前提条件および目標の確認
 - コースの前提条件
 - コースの目標
- コースの概要について
- Flex アプリケーションの ColdFusion との統合
 - Adobe ColdFusion 8 について
 - Flex 統合機能
 - 必要な ColdFusion のバージョン
 - Flex 統合機能のサポート
 - ColdFusion のインストール
 - ColdFusion インストールのチェック
- ウォークスルー1: ColdFusion インストールの確認
- Flex サービス設定ファイルについて
 - チャネル
 - uri プロパティ
 - アダプタ
 - 宛先
 - サービス設定ファイルの変更
- ウォークスルー2: Flex サービス設定ファイルの確認
- Flex Builder 用 ColdFusion 拡張機能の使用
 - デベロッパーツール
 - ColdFusion 拡張機能の概要
 - Flex Builder 用 ColdFusion 拡張機能のインストール
 - Flex Builder インストール後の ColdFusion 拡張機能のインストール
 - RDS サーバーの設定
 - RDS の機能
 - RDS Query Viewer の使用

- クエリーの実行
 - Visual Query Builder の使用
 - クエリーの構築
- ウォークスルー3: RDS Dataview の使用
- CFEclipse の使用
 - CFEclipse の概要
 - CFEclipse のインストール方法
 - CFEclipse による CFML プロジェクトの作成
- ウォークスルー4: CFML プロジェクトの作成

Flash Remoting での ColdFusion コンポーネントの使用

- Flash Remoting および RemoteObject クラスの概要
 - Flash Remoting と ColdFusion
 - Flash リモータインギアーキテクチャ
 - ColdFusion Flash Remoting で使用する Flex プロジェクトの作成
- ウォークスルー1: ColdFusion で使用する Flex プロジェクトの作成
- RemoteObject による CFC メソッドの呼び出し
 - RemoteObject クラスの使用
 - リモートオブジェクトメソッドとしての ColdFusion 関数
- ウォークスルー2: CFC からのリモートメソッドの呼び出し
- RemoteObject イベントの使用
 - 結果イベントの処理
 - 障害イベントの処理
- ウォークスルー3: RemoteObject イベントの使用
- 複雑なリモートメソッド呼び出し
 - CFC に複数のメソッドがある場合のイベントの処理
 - CFC メソッドへの引数の受け渡し
 - ActionScript と CFML 間のデータの転送
 - ColdFusion と ActionScript 間のデータ変換
- ウォークスルー4: 複雑なメソッド呼び出しの作成
- Remoting Service 実行時の設定
 - 実行時のチャンネルの選択
- ウォークスルー5: 実行時のチャンネルの設定

Flex Builder 用 ColdFusion ウィザードの使用

- Flex Builder 用 ColdFusion ウィザードの理解
 - Flex Builder 用 ColdFusion ウィザードの概要
- CFC Value Object Wizard の使用
 - CFC Value Object Wizard の機能
 - CFC Value Object Wizard の使用準備
 - CFC Value Object Wizard によるコードの生成
 - CFC Value Object Wizard のオプション
- ウォークスルー1: CFC Value Object Wizard によるコードの生成
- CFC Value Object Wizard が生成したコードの使用
 - 生成されたコードについて
 - 値オブジェクトについて
 - Gateway CFC からのデータの取得
- ウォークスルー2: Gateway CFC メソッドによる ColdFusion からのデータの取得
- ウィザードのメソッドによるデータの変更

データベースレコードの作成、更新および削除

- ウォークスルー3: データベースレコードの作成、更新および削除
- ColdFusion/Flex Application Wizard の使用
 - ColdFusion/Flex Application Wizard の概要
 - 基本情報
 - ページレイアウトとデザイン
 - Master ページの構築
 - Detail ページの構築
 - FlashPaper レポートページの構築
- ウォークスルー4: Application Wizard によるアプリケーションの作成

クライアント上のデータ管理

- コレクションクラスについて
 - コレクションの機能
 - コレクションのインターフェイス
 - 具体的なコレクションクラス
- クライアント上のデータのフィルタ
 - 関数の作成
 - 関数の使用
- ウォークスルー1: クライアント上のデータのフィルタ

- クライアント上のデータのソート
 - ソートクラスについて
 - ソートを作成するプロセス
 - シンプルなソート例
 - 複雑なソート例
- ウォークスルー2: sort 関数の作成
- IViewCursor インターフェイスの使用
 - カーソル操作
 - カーソルの使用
 - コード例
- ウォークスルー3:カーソルによるデータの検索

ラボ:

- Flex と ColdFusion を使用するプロジェクトの作成
- 単純な CFC からの ColdFusion クエリーオブジェクトの取得
- ColdFusion CFC Wizard の使用
- クライアント上のデータのソートおよびフィルタの適用

E4X によるコントロールへの XML の提供

- XML 構造について
 - 一般的シンタックス
- ActionScript 3 での XML データの操作
 - E4X の概要
 - E4X クラス
- E4X 式の使用
 - ドット(.)演算子と配列シンタックス
 - 括弧[()]演算子
 - 属性(@)演算子
 - 子孫アクセサ(..)演算子
 - データ割り当て
- Tree コントロールの使用
 - ツリーの作成
 - ツリーノード
- ウォークスルー1:XML データの取得とツリーへのデータ読み込み
- Tree コントロールのイベントとプロパティの使用

- Change イベントと selectedItem プロパティの使用
 - Tree コントロールの dataDescriptor の使用
- ウォークスルー2: 選択したアイテムのフォーム表示
- E4X 式を使った検索
 - XML の型変換
 - E4X 式による XML オブジェクトの検索
- ウォークスルー3: ショッピングカートへのアイテムの追加
- XML からのアイテムの削除
 - XMLListCollection の使用
 - XML delete 演算子の使用
- ウォークスルー4: ショッピングカートのアイテムの削除とクリア

LiveCycle Data Services の概要

- LiveCycle Data Services の概要
 - LiveCycle Data Services の機能
 - LCDS および Java Enterprise Edition サーバー
 - LiveCycle Data Services のインストール
 - 統合 JRun 上の LiveCycle Data Services の開始
 - ColdFusion に統合された LiveCycle Data Services の開始
- ウォークスルー1: LiveCycle Data Services のインストールの確認
- ColdFusion と LiveCycle Data Services で使用する Flex プロジェクトの作成
 - プロジェクトタイプの選択
 - ColdFusion サーバーの設定
 - プロジェクトのその他のプロパティの設定
- ウォークスルー2: LiveCycle Data Services と ColdFusion を使用する Flex プロジェクトの作成
- LiveCycle Data Services の機能
 - J2EE での LiveCycle Data Services
 - リモートオブジェクトサービス
 - Message Service
 - Data Management Service
 - Proxy Service
- BlazeDS の使用
 - BlazeDS の入手
 - BlazeDS の ColdFusion 8 との統合

Message Service の使用

- Message Service の概要
 - メッセージの宛先の作成
 - メッセージアダプタの選択
 - メッセージチャネルの選択
 - RTMP チャネルの有効化
 - 単純なメッセージの宛先
- ウォークスルー1: メッセージの宛先設定の確認
- メッセージの送信
 - メッセージングプロデューサの作成
 - AsyncMessage クラスの使用
 - メッセージトラフィックのトレース
- ウォークスルー2: メッセージの送信
- メッセージの受信と処理
 - メッセージングコンシューマの作成
 - 宛先のサブスクライブと解除
 - メッセージの受信
- ウォークスルー3: メッセージの受信と処理
- 複雑なデータの送受信
 - 選択したメッセージのサブスクライブ
- ウォークスルー4: 複雑なデータの送受信
- Message Service と ColdFusion イベントゲートウェイとの連携
 - ColdFusion イベントゲートウェイについて
 - サーバー要件
 - イベントゲートウェイの設定
 - Message Service の宛先の設定
 - Flex からのメッセージの送信
- ウォークスルー5: Flex と ColdFusion の間でのメッセージ交換
 - トラブルシューティングのヒント

Data Management Service の使用

- Data Management Service の概要
 - ColdFusion での Data Management Service の使用
 - Data Management Service/
 - ColdFusion アーキテクチャ

- LiveCycle Data Services の設定
 - Flex Builder および LCDS を ColdFusion で使用するための設定
- ウォークスルー1: LCDS 設定の有効化および Flex プロジェクトの作成
- ColdFusion で使用するための Data Management Service の宛先の作成
 - ColdFusion ウィザードの使用
 - Data Management Services の宛先の定義
- ウォークスルー2: データ管理サービスの宛先の作成
- Flex アプリケーションでの Data Management Service の使用
 - データの流れ
 - データの表現
 - クライアントとサーバーの値オブジェクトのマッピング
 - 一般的な ActionScript 値オブジェクト
 - ColdFusion からのデータの取得
 - ArrayCollection の宣言
 - 値オブジェクトの宣言
 - ArrayCollection データの読み込み
- ウォークスルー3: ArrayCollection データの読み込み
 - トラブルシューティング
- データの変更の管理
 - よく使用される ChangeObject メソッド
 - 変更されたデータの処理
 - メッセージトラフィックのトレース
 - レコードの追加と削除
- ウォークスルー4: データの編集
- データの変更の管理
 - autoCommit プロパティ
 - DataService メソッド
- ウォークスルー5: データの変更の管理
- DataService イベントの使用
 - DataService の結果の処理
 - DataService の障害の処理
 - AsyncToken の使用
 - AsyncToken の処理
- Data Management Service の高度機能
 - 競合管理
 - ネストされたデータ関係

- ページング

GoldFusion へのファイルのアップロード

- 基本的なファイル転送の実装
 - FileReference クラスの概要
 - FileReference オブジェクトの作成
 - ファイルの参照
 - select イベントの処理
- ウォークスルー1:ファイルの参照
- ファイルのアップロード
 - アップロードメソッドの使用
 - サーバーサイドのスクリプトを使用したファイルに伴うデータの受け渡し
 - progress イベントの処理
 - ファイルアップロードの取り消し
 - Complete イベントの処理
 - サーバーからの応答の送信
 - サーバー応答の処理